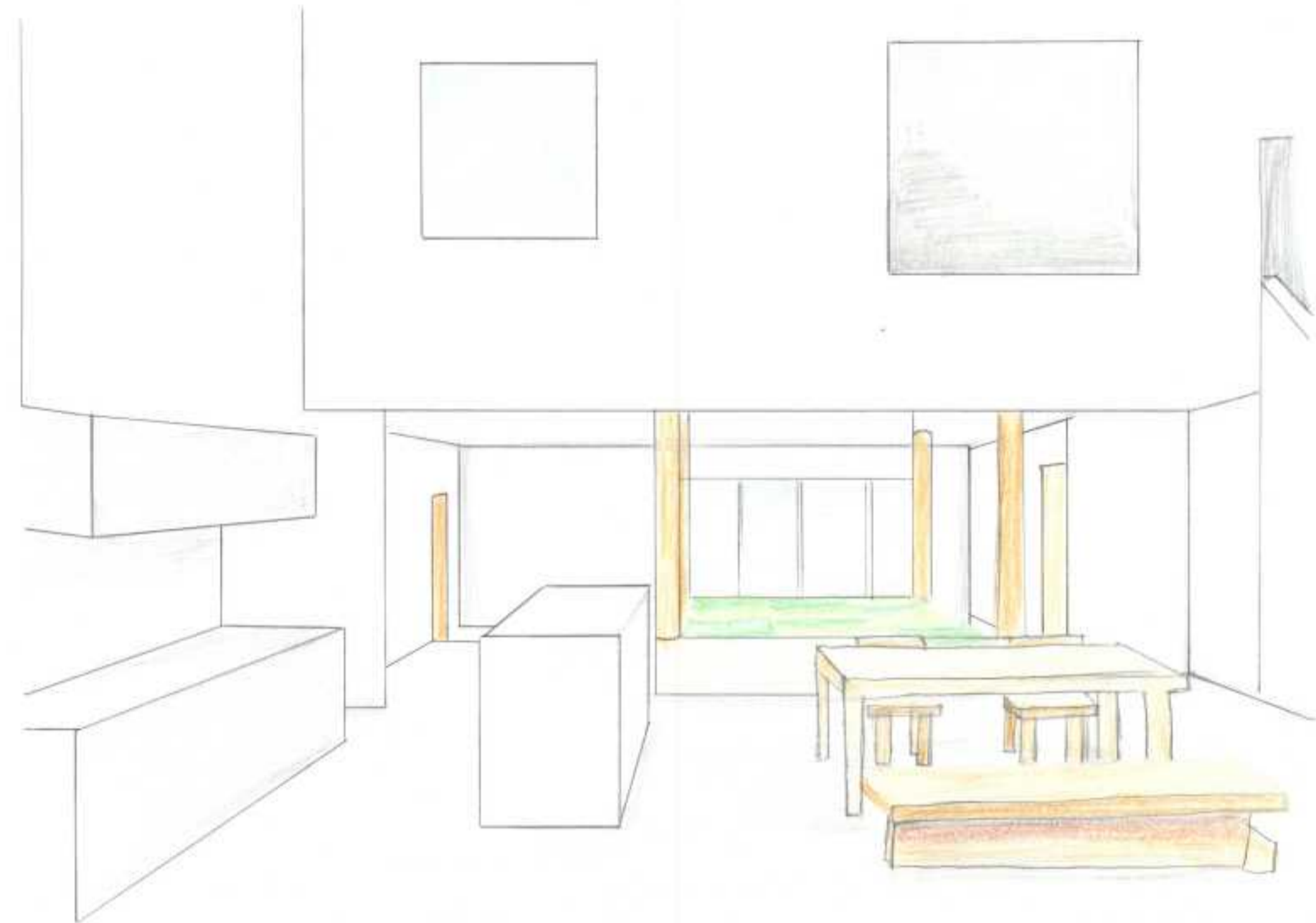


開かれる屋根

設計主旨

開くというテーマの設計で私は地域の人との交流を持てる敷地内、広々としていて開放感を感じて生活を送れるような住宅内部と考えた。しかし敷地スペースを地域に開きすぎて居住者の生活をマイナスにしてはいけない。そのためコミュニケーションもとれ、広々と感じることができるが家族のスペースを確保できる住宅を意識して設計した。そこで今回私は屋根に注目して開く家を設計した。屋根は雨風をしのぐ役目と多くの人が第一に思いつく。しかし日光の取り入れ方や配置の仕方を工夫すれば明るく広々した住宅内を作り出したり、スペースを区切りスペースを作ったりと屋根の掛け方で大きく変化をつけることができる。その屋根の利便性を生かした開く家を今回は設計した。



居住者イメージ



20代後半の夫婦
5歳の子供
コミュニケーションをとるのが好きな3人
夫婦は平日出勤の会社に勤めており、土日は家族3人で過ごしたりしている
趣味
父：読書
母：料理
息子：会話や体を動かす

設計データ

敷地面積 : 510 m²
1階床面積 : 90 m²
2階床面積 : 52 m²
延べ床面積 : 142 m²
建築面積 : 245.23 m²

鉄骨造住宅
屋根：ガルバリウム鋼板
外壁：サイディング（白）



開く家
タイトル・設計主旨・設計データ
内観パース・模型写真
2021.5.26
2年 | 2015033 | 寺田 早登

